

通算才 260号

1968~1969-4-30

函館北ロータリークラブ

例会場 函館拓銀ビル

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

第246回例会

本日のプログラム

卓話 酒とお茶

北大名誉教授 村田喜一  
函館大学教授

出来ない人達です。欧米諸国では、民間団体の社会福祉事業が多い。日本も欧米人のように福祉事業を民間の手で行って行きたいものと思えます。その事に寄つて税金も多大な経費で消えてしまわず、全部が福祉事業に投入出来ると思えます。

米 出席報告

本日の出席 会員43名 出席31名 欠席12名  
前回の出席 会員43名 出席41名 欠席2名 95.24%  
他クラブ状況 函館RC 94.78% 函館東RC 97.59%  
インターシテ ジェネラル フォーラム 提出議題  
(日時 4月27日 函館北RC 提出議題)

1. クラブ奉仕部門討議  
会員推薦委員会の運営は如何にあるべきか
2. ロータリー拡大に関する部門討議  
各クラブではロータリー拡大のために部外者に対して適切な知識普及の努力をされていると思うが、どんな方法をとつておられるか 御教示願いたい
3. 社会奉仕部門討議  
都市と農村の親睦の目的を以て実施され効果的であつた社会奉仕の例を承りたい。
4. 国際奉仕部門討議  
人口の激増に悩む後進国を援助するため会員が毎月幾何かの積立をして医療品、或いは農業用器具を贈る運動を地区ガバナーを通じて展開しては如何。
5. インターアクトクラブに関する部門討議
  - a) クラブ活動計画の限界をお伺いしたい
  - b) I.C.とR.C.との関係の再認識
  - c) I.C.と校内の一般クラブ活動をどの様に調整すればよいか
  - d) 参加希望者は審査して入会すべきか否か
  - e) I.C.会員の脱落防止の対策如何

ロータリーの誕生とその成長

今から63年前の1905年、その頃経済恐慌で人心の荒れずさんでいたアメリカ社会、特にシカゴの状態を憂えた、青年弁護士ポールP.ハリスが、奉仕の精神によつて人の和をはかることこそ、よりよい社会をつくりだす道であると考え、3人の友人と語つて2月23日、この理想を広く人々に呼びかけようと、才1回の会合を開いたが、ロータリークラブの誕生であります。ロータリーとは、会員が持ち回りで順番に、集會を各自の事務所で行うことから名付けられました。この理想は着実に成長し、現在145の国家および地域にひろめられ、クラブ数13557、会員数648000名に達し、さらに大きな発展を期待されております。

第245回例会記録 1969-5-23

- 米 司 会 深瀬会長 米  
米 ビジター 今井一郎君(東京浅草RC 生花販売)  
伊藤四郎君(石巻RC 鋼鉄船)  
福田哲郎君(幌南RC)  
函館RC 伊部政次郎君他12名  
函館東RC 飯田貞一君他7名

## ＊ 幹事報告

1. 本日の例会終了後理事会を開きます。理事の方時間はとりません御参集下さい。
2. 4月27日インター、セテイ、ゼネラルフォーラムが開かれますが当クラブ出題説明者次の通りです。

a クラブ奉仕部門	下郡山信一会員
b ローター拡大に関する部門	遠藤尚義会員
c 社会奉仕部門	高杉重雄会員
d 国際奉仕部門	未定
e インターアクト	戸栗力会員
3. 函館東RC 札幌西RC、4月29日の例会は、祝日につき休会です。  
札幌南RC 5月5日の例会は祝日につき休会です。  
釧路北RC 5月から毎週水曜日に例会開催、会場はオリエンタルホールに変更いたしました。尚29日の例回は休会です。

## ＊ 卓話 医者 of 切腹 水上美喜雄会員

胃弱であつた私が、高度の十二指腸潰瘍になつてゐることがわかつたのは、昭和40年10月でした。当時既に手術の適応でしたが、自覚症状も殆んど無し、癌の恐れも無いので経過をみておりました。将来出血するか、破れるか、つまるかの三つの可能性があり、あやしくなれば直ちに手術する決心でいました。43年2月4日、腹痛と嘔吐があり、狭窄症状が出て来ました。一週間後北大病院に入院し、始めは内科で精密検査を受け、2月27日外科病棟に移りました。自分の生涯に2度とは経験しないであろう大事件なので、毎日日記をつけておりました。3月5日手術前日です。当分おわかれの昼食をとり、食後の煙草を心ゆくまで吸いました。午後5時胃洗滌をし、あとは絶食です。切腹前夜の心境は複雑でした。麻酔のこと、手術のこと、手術後のこと、そして事故や失敗のケース、医者であるために色々のことがわかつていて仕末が悪いものです。迷つたあげく、やはり医学を信じ、神仏に頼る以外道はありませんで

した。3月6日よいよ手術日です。朝8時胃ゾンデを留置されました。錠剤を二つのまされ、午前11時、手術準備室に運ばれました。皮下注射を一本うたれ、間もなく完全に意識がなくなりました。以後病室にもどるまで何も覚えておりません。病歴によりますと、11時45分手術開始、2時間で終了、取つた胃は半分とありました。最初に意識を回復した時、見なれた病室の天井が見えました。その瞬間「良かつた、命が助かつたナ」と思いました。安心したとたんに又眠つてしまつたようです。その日行なわれた注射や、酸素吸入や、又見舞の方々のことも殆んど記憶にありませんでした。翌7日、少し意識を回復しました。スムーズに自然排尿がありました。人間寝たまゝ布団の上で大小便をするのは、案外難しいもので、健康なうちに訓練しておく必要があります。一方私は汗と動悸に悩まされました。血圧も上つたようですが、受持医は私が心配すると思つてか、教えてくれません。内心困つたことになつたと思ひましたが、持医に聞いても返答に困る筈なので聞きませんでした。それに対する処置はして下さつておるし、時間がたたなければ解決しないのですから。それに加えて点滴注射です。2日目は量がふえて2300CC、翌朝午前3時半まで続けられました。翌8日、やはり絶食です。胃にはゾンデを入れられたまま、口が乾いても含嗽をするだけです。ガスが出なくて、お腹がはつて来ると導氣をします。その夜は注射で眠りましたが兎に角三日四晩、飲まず食わずが続いたのはやはり大変なことでした。然し病氣とたたかい苦しんだのは、ここまででした。

3月9日、4日目の朝6時半、待望のガスが出ました。これは胃腸の働きが復活したことを示す大切なサインです。ガスが出ると当然胃ゾンデも抜いてくれるし、番茶や重湯も許可されます。私は本当に助かつたのです。手術は成功です。汗もへり、脈博も血圧も正常になつて行きました。あとは体力の回復をまつばかりです。10日には部屋の中を歩けるようになり、12日には一人でトイレに行き、13日即ち手術後まる1週間で廊下を散歩するようになりました。看護婦達から、私の回復が素晴らしく早いので、「模範的な患者さんだつたから」と褒められました。14日には刺身を食べ、16日には床屋に行つて、

帰りに売店で買物をしています。23日胃バリウム透視をやり、半分になつた胃の写真をみて感無量でした。然し半年位すると元の $\frac{3}{4}$ 位にふくれることになつています。27日入浴し、退院の許可が出ましたが、休養のため延期してもらい、4月5日函館に戻つて来ました。帰つてから栄養をとることに専念し、3ヶ月で9Kg体重がふえました。5月から午前中だけ病院に顔を出し、6月から無理をしないで1日勤務につきました。さて昔から「医者の不養生」と言う耳痛い言葉があります。然し医者は患者のために心身をすりへらす職業ですから、病気になるつても何ら不思議はないのです。殊に十二指腸潰瘍などはストレスから来る事が多いのです。弘前大学医学部の松永教授、この方は日本でも有名な胃腸の大家ですが、それでいて御自分が十二指腸潰瘍になり、遂に胃を手術されたのでした。先生は大学教授の激職にあつて苦労され、ストレスが多かつたのです。然し先生は真面目で酒も全然のまない方なので、ストレスを発散させる場がありませんでした。それで先生は「自分は酒をのまなかつたから十二指腸潰瘍になつた」と冗談を言つておられました。現在の私は健康も回復し最近ではテレビテレビと酒をたしなむようになっております。酒は用い方によつては、当然毒になりますが、一方用い方によつては立派な薬にもなると云う、皆様方が喜ばれる決論が出たようです。

＊ 出席報告

本日の出席	会員42名	出席36名	欠席6名
前回の出席	会員43名	出席40名	欠席3名 92.86%
他クラブ状況	函館RC 91.29%	函館東RC 95.18%	
3月の平均	17位函館北RC 97.11%	30位函館東RC 94.0%	
	39位函館RC 92.89%	44位森RC 91.20%	

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

通算第261号

1968~1969-5-7

函館北ロータリークラブ

第247回例会

例会場 函館拓銀ビル

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

本日のプログラム

「函館圏の問題点」

函館市企画部長 宇佐美栄彦氏

第246回例会記録 1969-4-30

＊ 司 会 深瀬会長 ＊ 斉 唱 手に手つないで  
 ＊ ビジター 坂倉治平君(山口県長門R.C.・陶工芸)  
 福田哲郎君(札幌一幌南R.C.・商業銀行)  
 小松 清君(小樽一南R.C.・保存食料品製造)  
 菊地忠義君(森R.C.・タクシー業)  
 村田喜一君外10名(函館R.C.)  
 堀田政次郎君外4名(函館東R.C.)

＊ 会長報告

去る27日日曜日に函館クラブがホストでインターンターゼネラルフォーラムがあり大変盛会でありました、折角のいいお天気でゴルフの好きな方には大変お気の毒でしたがそれ以上に有効にお過ごしになつた事と皆様と共に同慶に堪えません、討論の主な内容を申し上げますとクラブ奉仕部門で北クラブの意見を糺され出席の問題で結局出席は出席委員長とプログラム委員長と親睦委員長の3人が提携してやるのが大事であるという事で他クラブからも賛成意見がありました。又函館クラブの高野会員から出た職業奉仕の問題ですが職業奉仕の事例研究というのがあり北クラブから私が此の問題について我々ロータリーンは昼の会合は顔を知る会であり夜の会合は心を知る会であると申しましたが森クラブからも色々参考意見が出されました。要するに非常に盛会でありましてあらためて函館クラブにお礼を申し上げます。